老荘思想集

え

近世名家發句集巻之都

花洛花守岱年撰

四月
五月
六月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一二本ある中にとれるもの　杜若　ツルカ　掛衣
後にうつしてみるに花さくや杜若、　素堂
その底より咲やいつ芦のうらにてと　十六　井子
らんに寄るて伐ん　杜若　カラ山　井流
杜若　深てもとゝのや　伊と　エアミ　丈吉
耳のあんふるあたしるむや　杜若　サク　松仇
深吉せを　隣の地ちり　蕉を　む、　や若
今　伊てこゝ　ちる　杜若　イカ　茶子
咲て　深てる　拾　拾人　牧みぶ　アヤ　一枝
拾て　来る　牧みるを　大阪ぶ　古人
強　てもちんを　ぶ　カラ山　井流
尋　ぶ　拾ふ　拾人　牧みぶ　キヒ　宿函

家　拾を　ふる　て　拾を　久ちに　ぶ　ナタ　一　ぶ
ゆを　ふて　拾の　出る　牧みぶ　サスキ　梅　素
ひつを　ちを　あの　ゆを　ありの　む　キヒ　宿函
藤　ふを　人を　拾　ふを　ゆを　む　イカ　茶子
一　八や　ゆを　つを　ぶ　ちり　サク　柳芽
石　蒔や　みを　けを　ぶる　緑　ぶる　ツ分　孟　鉢
濃　ぶの　ふを　ぬを　ぶや　芦　ぶを　ナタ　丹　芦
ぶる　咲や　ゆを　ふん　て　ふる　む　ヒ　咲
茶　杜や　一　強　ぶを　ゆを　の　茶、　サク　一　ぶ
麦　蒔も　呂　百や　ぶを　ぶを　サク　孟　鉢
ぶを　ふを　乃を　ぶて　ゆを　ぶを　サスキ　素　函
咲ぶ　ふを　ぶを　こを　ぶて　ぶを　ぶる　ぶを　十六　る　花

りめかわて　松　仕事すこうはぶ　サヌキ　芝　和
みまたかえる　中　ゆるる　ゆ　芝　ぶ、　き　桂
伐　出　と　ま　も　後　ゆ　に　ま　芝　ぶ　八　湖　も
新　ま　ゆ　仕　ま　と　う　は　う　ま、　菱　芝
浦　ま　の　ま　乃　浦　れ　て　ま　ま　ま　ぶ　ヤマト　芳　瓦
吹　ま　ま　て　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ぶ、　丹　楓
ま　芝　ま　る　月　後　ま　ま　ま　ま　芝　ぶ　ナタ　玉　鳴
中　の　し　松　の　ま　し　ま　ま　桃　サヌキ　き　桂
芝　き　ま　や　き　桂　の　し　る　ち　の　供　ヤマト　金　岳
ま　き　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　サク　仝
芝　ま　や　松　の　ま　ま　芝　ま　乃　ぶ　ま　立　サク　赤　母
新　月　や　き　ま　ま　松　相　乃　も　サヌキ　竹　俣

行　き　ま　ま　て　ま　ま　う　桜　の　も　カイ山　一　器
ま　れ　る　ま　る　ま　の　ワ　ち　や　桑　の　も　イチ　松　秀
ま　ま　ま　ハ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　サク　主　丸
芝　ま　の　芝　の　松　の　ま　ま　ま　ま　ま　十二月　松　月
ま　ま　ぬ　ま　ま　ま　て　ま　ま　て　ま　ま　キヒ　宿　瓜
ま　や　の　松　ま　ま　や　ま　ま　ま　ま　芝　ツルカ　丹　筒
ま　ま　や　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ヤマト　芳　吉
芝　ま　の　芝　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　サヌキ　梅　庵
ま　ま　ま　や　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　十二月　丹　桂
ま　ま　や　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ラク　杜　菱
ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　カイ山　丹　風
松　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　仝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ヤ特牛引こむ高麗ヤマト　三ヶ丸
[illegible]ヤ[illegible]ツルカ　糸月
[illegible]のうへて[illegible]キヒ　宿ル
[illegible]くものとく[illegible]ヤ物の[illegible]ナ六　丹毫
[illegible]ヤ[illegible]ツルて一さ[illegible]サヌキ　女ル
[illegible]ハ[illegible]て[illegible]ヤ[illegible]サク　物芳
[illegible]て[illegible]ナ二八　[illegible]梅
[illegible]ヤ[illegible]の[illegible]の[illegible]サヌキ　花川
[illegible]ヤ[illegible]イセ　文実
月の[illegible]射[illegible]ク　[illegible]
男[illegible]ヤ[illegible]サク　松[illegible]
[illegible]ヤ[illegible]ナ二八　丹毫

例[illegible]ヤマー　芳[illegible]
[illegible]ツルカ　羽[illegible]
[illegible]サヌキ　[illegible]
[illegible]ナ二八　丹毫
[illegible]ヤマト　芳[illegible]
[illegible]イセ　文実
[illegible]ツルカ　松[illegible]
[illegible]サヌキ　三[illegible]
内[illegible]ヤマー　[illegible]
[illegible]ナタ　高[illegible]
[illegible]イカ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]又出し[illegible]
[illegible]ぬうちや宮くも入り[illegible]
一番入して[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]日[illegible]月
[illegible]身に[illegible]向[illegible]
[illegible]
[illegible]

申刻うゝ人のとゝまりあうんぶ、一枚
きてさへ　ナニハ　舟紫
大きはを　ヒカサキ　吾人
一ぱんと　ウルカ　玄也
ゐも今　都と　一井
杜ゐの　函柳
伐ゐ　サク　柳郷
蓋ゐも　中の社を　女祢、
都るの　尼
さに猛　イカ　柳芳
番ゐる　市雪
遠中咲　ナニハ　井紫

函ゐの長を　今し　芳ゐ社も、　井雅
り咲や　函もいぬる　ゐ人　サク　夏月
都　都ふ法と　ゐもゐ　ゐ月
寺咲や　函ゐと　眠のり　望の　祇　キヒ　雪函
印の色や　月ゐとゐた　杉の　カツラ山　舟風
ゐとゐとゐ　ゐのゐふゐ　ゐゐ　ツルカ　函柳
ゐのゐり　魚のゐく　夕りゐ　サク　一騰
ゐのゐゐよ　ゐゐて　月の　ゐり、　秀也
印のゐや　ゐゐゐる　焼の月　下ノヤト　ゐ風
ゐ　ゐゐハ　ゐくいぬ　ありや也　芸　ヤヽト　芸函
都てぬる　都田の　時や　ゐいゐこ　坤也
大寵の　芸ゐく　ゐや　拂　ゐも、　和叢

春ぬやとの花まもあてしし　イカ　市垂
つきけハうぐひすなきぬ　春乃秋　アフミ　て　ゐ
とまりうけすあるゐやまの　ヤマト　ゐく
草や　市垂　ゆるる　春乃　古　ナニハ　井龍
水のゐや　ゐ　小ぬき　乃　春　サク　柳乃
草や　ゐ　ゐるうぐひす　伸る　ふり　ナニハ　呂　ゐ
流ぬ　ゐ　ゐ　ハ　ゐ　ゐ　ゐ
引　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　サク　芦　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
庵　掃除　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　カリ山　井流
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　キヒ　ゐ　ゐ　女

もちつとゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　尼　ゐ　ゐ　友
接　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　下ノセキ　梅枝
水　梅　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ナニハ　井龍
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　カリ山　井流
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ミカハ　宮ゐ
梅　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ラク　梅ゐ
時　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ナニハ　井ゐ
社　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ウルカ　ゐ　ゐ
ゐ　親　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
宮　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
いく　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ　ゐ
ゐ

ゐる庭のくさや色褪、雪の
今にうゑゐ日さかやかなきす（イカ）芋茎
芋のとなりに二階ろうや時雨、市雪
芝とれハ紙ふすまを紙（ミカケ）皮竹
牡丹等の植ハ木ふる松柏（サク）冬鳥
時雨てうゑるゆ植や杜宇、五月（下ノセキ）芋茎
芋を引ぬきの根きれて置蔬（ツルカ）梅花
笑の花をいうつも咲や雨降、三光
書るあるものとゑんこう、井筒
乃喜ふ云云の俳や茶古色、
菖の花ゆ源宮てりくゆ（サク）廣人（ナニハ）
汎くる花の紙きやりくゆ 歩芋

引うけてきく芋カヅリ山一幣
婚姻も赤ゆ雪下河原（ツルカ）屋敷
ゆくてみて熟くゆ（サク）岩梅
種を蒔るゆ雪ゆ、
ゆくゆく月ゆ山ゆ、柳芽
雨降て清ゆ雪ゆ、花有（ナニハ）
山里や捨る源ふつくゆ（ヤマト）井筒
うゆく夜月新ゆ源業、和歌
雪て見ゆ如ゆ雪ゆ、坤山
金屏て雪ゆ初ゆ雪ゆ（イカ）全
屏ふ人岩振きゆ初ゆ（キヒ）市雪
庫入ゆ新て時一和黄麦（ツルカ）山鳥
梅花

出雲の志ぬび城や出雲の国、一笑
坂をする時分ふの江時分ふる、西蕉
蕉や田のれるのさて帰り　カリ山　一鄙
子子や西ん きゝもする　サク　亀屋
蕉や中に ん て 蕉ん る、　岩梅
せ や 時や　ナニハ　井筒
芸 ふ 芸 や ふ の ふ 時 り　サク　杉孔
逢申 ふ 来 ん 列 や 芸 物　ツルカ　如猿
定 役 の ふ 仏 含 ふ る 給 ぶ　ナニハ　浅賀
半 月 も お ん て 志 の 給 ふ れ　ツルカ　如山
き の ふ ふ 給 ふ て 京 の 西 し　サク　病人
芸 到 後 て ふ ふ ふ し 給 ぶ 、　葉ふ

京のいきむ 接 投 ふ や 志 列 紙、　志 有
芸 海 ふ 為 て ゆ ふ し 志 ふ 給、　四 結
ふ 序 ふ 聖 も 結 ふ 紙 あ ふ せ、　芸 亀
咒 ひ ふ に 京 角 ふ ふ や 文 云　イカ　市 雪
文 云 し て 京 の 芸 の 志 部 ぶ　ツルヲ　皮 山
彩 ふ る 彩 ふ し 志 ふ、　云 ふ、　北 山
ふ ん ま ま 乃 ふ ま の ふ や 文 右、　羽 花
帳 の 中 に 孔 ふ く ひ ん お 織 ぶ　ヤマト　和 賣
志 列 く 京 ん ん ん ん 稼 ぶ　ナニハ　井 巻
京 ん ん 咒 の 嬉 入 ふ ま を ち ま 紀　キヒ　烏 四
巻 ふ ふ る 亀 ち ふ ま や 徳 京　リク　文 月
ふ ふ ふ ま し ん へ ち ふ 亜　ナニハ　井 亀

笑つくろうもちろうまへ　ツルカ　三郎
つくるるもゆるのもりに　ヤマト　神山
薄紅やとりの出るも梅本妻　十二月　井戸
薄紅やぬれぬ袖あれ縁中道、　井筒
薄紅や冊子を綾にすまきた　サツ　藤人
雪とけの礼沼あや仏生会　ミナケ　牛車
仏とう瓦私よ昨の打産河原　サク　梅月
笑顔よりぬるの向や竿洗し、　一九
夜ともや月さんと紅葉の戸　ヤマト　清し
朝寒と仏のるるや立ち梅　ノカ　市雪
仏詩の咲ぬとうとやまさすれ　ツルカ　文仏
雪籠の沼ホうて青きれ、　屋敷

出ふるの神立ち雪系の帝懐　ラク　梅宮
同一まへ告句てあるのりに　カフリ山　一鶴
まんうちふをむ雪踊や葉の月　仏ヒロ　松仏
浪切と海よ魚とふ月うる　キヒ　雪雨
雪うう先ふり和て梅乃雪　イカ　茶子
梅雪宮や踊ら時二雪浪　尼サキ　風子
ちうあや雪あひしてある二新茶　ツルカ　素雪
ちうれや月雪踊る小買新　イセ　文宴
春月雪やふりぬ雪へさん月夜　サク　文夜
ふる中もちうのみをさを雪　十二月　松本

[illegible] カブリ山 一 [illegible]
[illegible] 小ハヽ 素 玉
[illegible] ナタ 一 [illegible]
[illegible] ヤマト 撞 子
[illegible] 尼 一 枝
[illegible] サク 松 風
[illegible] ツルカ 一 枝
[illegible] アハ 覺 一
[illegible] アフミ 主 松
[illegible] サク 元 圭
[illegible] カブリ山 丹 流
[illegible] アハ 三 笑

[illegible] ツルカ 素 玄
[illegible] アフミ 子 [illegible]
[illegible] 兵コ 篠 [illegible]
[illegible] ナ六 松 [illegible]
[illegible] カブリ山 丹 流
[illegible] アフミ 宝 [illegible]
[illegible] ツルカ 松 山
[illegible] サク 茶 流
[illegible] 尼 風 子
[illegible] ツルカ 吉 人
[illegible] 三 [illegible]
[illegible] 素 玄

紅葉を見ては深山の嚴嶺（カフリ山）九柱
二ツ折笛を結合て（サク）衣糸
ふたゝび流れよ水を志まして深みゆく（アフミ）主紅
弘あらゝを再深むれにうゝ（ナニハ）井亀
釋みとゝあるに如乃紅葉（ツルカ）文山
折ゆや紅ふゝ義し恋の光、（アフミ）北山
板ゝの法ゝゝちや白生夏
等いめぬ赤の紅結みて芸法紅（アフミ）松友
吾見て常人恋ふし（イヨ）金
降ゝと西よ書ゝ山（ナニハ）鳳凰
中くゝ人の心えて書流法ふ（キヒ）秋旭
みゝゝ洞洞て流ゝ（サヌキ）宵西
亀山

宝于や徒ゝ白ゝ書する光尺一
仇の赤ゝ筆とゝて古用于（サク）病人
ゝゝ恋の人ゝる和ゝや赤宝紅、（アフミ）柳芳
ゝくきれ鍵の小青や筆（ナニハ）井古
きしあゝ八寸の義つゝ竹奴（サヌキ）化友
等の戸や紅も恋ゝ人も左寸（アフミ）五寺
紅ふよ筆ひゝ紅ゝ紅結の宛（キヒ）宵西
彩よあゝ扇をもて筆ひふ（ヤマト）携子
きゝゝゝ義して病入宝房ふ（サク）恋洞
引夜に于ひゝけゝふゝふ（ナニハ）柳月
人寿ふあゝ筆や大矢教、（ある矢）雪渓
秋をゝ夜ゝゝゝ筆ゝ（アフ）洞古

出て　さ月ばかりの　いとゝあや山の月　アフミ　松友
ひとり　みて　一人　ながめし　あかつき　月　ナニハ　明井
庵　ながめ　あを　雨　ちあや　あの月　キヒ　雪溪
おひ　ゝ　を　分て　あふ　ゝ　高　月　キヒ　雪西
友の月　往来　作り　ゆ　れ　イセ　有吉
篠　ち　ち　結ふ　新　おく　菊　ラシ　金魚
笠　ゝ　て　さ　ゝ　ふ　菊　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　キヒ　雪西
二　首　浩　ゝ　の　ゝ　さ　ゝ　ふ　の　ゝ　ナタ　一好
梯　ゝ　て　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　サスキ　亀山
明　ふ　ふ　ゝ　月　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　サシ　文友
河　岸　や　ち　ゝ　し　ふ　ふ　の　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]、茶宮
[illegible]（カブリ山）九枝
[illegible]（ヤマト）樗子
[illegible]（サヌキ）西根
[illegible]（キヒ）一玉
[illegible]（サノ）清月
[illegible]、玉兎
[illegible]（ナ六）柳木
[illegible]、仝
[illegible]、子牧
[illegible]（アフミ）香心
[illegible]（キヒ）一玉

[illegible]（ナ二八）野菜
[illegible]（ミカケ）竹甫
[illegible]（アフミ）五守
[illegible]（ナ二八）宮梅
[illegible]（アカシ）花石
[illegible]、冬く
[illegible]（サク）清宮
[illegible]（尼）吾人
[illegible]（カブリ山）野流
[illegible]（ヤマト）坤巳
[illegible]（ツ山）綾人
[illegible]（イヤ八）柳雪

[illegible]人そらひろう落ちむ カフリ山 彩葉
七八日 京人 遊びうまの毒のあれ、 ツ山 丹流
気のつくる山いあをくうの葉ぶ 尼 東垣
信てあるあるあ葉まま彩橋ぶ 吾人
神のまとをみるよまるあをぶ ツルカ 小山
神のものやを橋まるうを猪の上 ラク 有良
ゑませハ月をしてみ浮葉ぶ、 橋家
京ゑや浮葉よ毛る浮埃を サク 丘笹
雪方 止てるよ浮葉ぶ、 猿人
引浮よ付て浮をうれすぶ キヒ
あ浮れの月見て言るあ彩ぶ ツルカ 長面
浮をうを振ゑを振ゑあや明るひあ ナニハ 北山
弁葉

[illegible]ると彩をれ白ゑ、 朱を
世ゑみ明やゑ高しあ京ゑれ 尼 三光
振ゑを俳ゑ彩ゑあ高ゑ松 ツルカ 一枝
をうを浮ゑ花ゑまをて世ゑの高 イヨ 食乗
高をうぬけをゑ染を乃毛 仝
葉を紫ゑ彩ゑ浮ゑ高し毛宝ぶ サヌキ 橘寿
研をゑの葉の丹つゑふ毛切ぶ 小ハ一 玉玉
毛をゑ乃ゑ高ゑる葉ゑれ ツルカ 梅友
篇入し丹戸ゑも出る葉ゑる サク 亭香
珠教ゑし毛ゑふに乃ゑ色葉ぶ ハ 紫一
変紫や京人葉ゑく 妃 牛、 洞葉
ゑ葉の紫ハ日信ゑゑ 妃 牛 尼 一枝

[illegible] 五芳 ナニハ
[illegible] 仝
[illegible] 竹の葉、 [illegible] アフミ
[illegible] 雪 [illegible] サヌキ
[illegible] 仝 [illegible] イセ
[illegible] 実 ツルカ
[illegible] 山 アフミ
[illegible] 海 サク
[illegible] 月 ツルカ
[illegible] 仝 アフミ
[illegible] 月 アフミ
[illegible] 至

[illegible] 人 アハ
[illegible] 鶯 サク
[illegible] 子 ラク
[illegible] 一 キヒ
[illegible] 水 ナニハ
[illegible] 化 サヌキ
[illegible] 樗 ヤマト
[illegible] 文 サク
[illegible] 陵 ラク
[illegible] 雪 サヌキ
[illegible] 芳 サク
[illegible] 時 [illegible]

言いのを世の月傳や等侍りし、　病人
義　堅をとして言のうつる夜世界　イヨ　意石
うく　持と年　臨ぬやふを　清　ヤマト　樓子
後をて寿と雨をそしをうり　アカシ　金笠
り結てうる夜の砂原界　ナ二八　松末
砂原をうり夜沢源界　サノ　松風
形代や月のうきをひハうの　泡、　表手
はうう成にうぬ九や広板川　ナ二六　羅太
業五や　くうをとはふ　ツヌキ　亀山
筆打月や秋く一あの紅の色、　花鶯
を序に作切世界うう界　サノ　柳芽
後うる面にをうし書　笠、　波窓

うけて出る松も青世の氷窓界　ナ二八　羅太
みをみて元て出さうふひむう界　ツルカ　厳象
松の月みし山をうう　あを　丹前
ちう青ま松の古葉や山むう山、　又角
ふるをハうの夜つぬ氷窓界　作シウ　柳芽
六月や雲ひとつふ雨うる、　松風
ちりや紅いぬ色のすうり而　ツルカ　厳象
六月やすつをうををつし、　更山
出てや松うう義し一年、　松検
出ちや月のいあく色の店　尼カサキ　庭蓮

[illegible]や[illegible]て[illegible]　探　[illegible]山　東屋下ノセキ　同江
人の[illegible]て[illegible]　[illegible]　十六
特異に汐の[illegible]や[illegible]　子鶏
[illegible]る[illegible]ふ[illegible]や[illegible]乃汐　アフミ　松花
日[illegible]や[illegible]もりよる　[illegible]の穴　ツルカ　藤葛
[illegible]ふ[illegible]ま[illegible]や[illegible]の[illegible]　サク　清晴
日さうや[illegible]ふ[illegible]ま[illegible]の[illegible]　人
[illegible]人[illegible]の[illegible]や[illegible]る　キヒ　雷丸
[illegible]ま[illegible]しつけて[illegible]る　アフミ　麦豆
川[illegible]い[illegible]ま[illegible]あり　ラク　[illegible]
[illegible]ま[illegible]に[illegible]の[illegible]や[illegible]　サク　呂栃
[illegible]の[illegible]や[illegible]ま[illegible]し　十六
五芳

[illegible]ま[illegible]の[illegible]ま[illegible]や[illegible]ま[illegible]　牛蒡　アミ　松花
[illegible]の[illegible]ハ[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　アカレ　初月
[illegible]ま[illegible]の[illegible]ま[illegible]の[illegible]　セキ　[illegible]女
[illegible]の[illegible]ま[illegible]の[illegible]ま[illegible]や[illegible]ま[illegible]の[illegible]ね　サハ　柳芽
[illegible]の[illegible]ま[illegible]の[illegible]ま[illegible]の[illegible]　ツルカ　藤葛
[illegible]の[illegible]ま[illegible]ま[illegible]や[illegible]ま[illegible]乃[illegible]ま[illegible]
[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　サク　[illegible]
[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　サク　[illegible]
[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　十六　[illegible]
[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　ツルカ　藤葛
[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　サク　[illegible]人
[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]ま[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるよりて男をうのすゝきに　ツルカ　一枝
月清し　見れハ光る清き蓮　カヅラ山　一幣
茶とうるよりこの西こ方の月　サク　墨梅
何れ〳〵なるく出ぬ月ハ　清月
明れ渡の光る茶屋や高の月　ツルカ　如山
苦よりなる　ヤマー　清く
高き杉のとゝもをし　蕨　アフミ　夏雪
杉をきゆのふゝ高夏の私、　雲也
きや杉よりをし　故郷の　セキ　風江
うゝひすの高ハをゝ高の山　ナニハ　井楚
見ふ立いつこの利や　長清ゝ、　井龍
如る龍舞の　仙てをるしゝ　カヅラ山　井流

東又ゆる　立人　清し　きゝ　ゝ　アフミ　天年
出ふ見寸　清を　仙清　ゝ　ツルカ　西柳
ゝあてゝ　きゝ　ゝ　清む　清れ　尼　長人
四方中を　別ふ　清ゝ　ゝ　テハ　西令
あゝゝの　立の　一先　きゝ　蓮ふ　ナニハ　井龍
蓮の　ゝや　すられハ　ゝきゝ　長尾　ヤマト　清ゝ
蓮　捨て　ゝ　市日　弱ゝ　蓮　イカ　別井
又　蓮へて　淵の　清ゝや　蓮ゝ　ナタ　捨茶
別ゝ日し　野ゝ　高　清茶ふ　カヅラ山　井流
夕　ゝや　清　風ゝ　立ゝ　ナタ　捨茶
夕　ゝや　ゝ　清ゝ　清ゝ　セキ　風江
蓮　ゝや　淵の　仙令　牛　捨　ナニハ　井龍

麻刈て もとのごとくしく ツルカ 丙弟
百ゐ 取けハ 腐のそこ紀ぶ イカ 茅乗
ちて みぶ 百ゐ 高のせく 田植ぶ セキ 此角
植てのく 田ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ 、 茅海
ゐ ゐ ゐ て ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ ゐ

休息する人の多くあるに、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

生れて月乃雪や時雨セキ虫之
つるを張まくるあ事すなる水、蓮池
海見ゆる竹篠の立坊やんち、蓮月
田のそそぎて すとりいなナタ 桃葉
賣買てさくらの太アラミ て夏
すゑ紀国のさたし高セキ 曽雨
ゆく九ふ京のちくや川社、 雪雨
茅の陰てあるとゐや狐絡ツルカ 履哀
付乃撫んてせきれちのとサク 松風
さり梅の稽見て高る法務ナ六 井亀
ゆよ搭と紀ちゑ、 梅雨
あ見て人のさと川法務ル、 井左

ゆるる田のあ雪や雪のミカハ 年池
あのゆゆゆよとつく年身ゆ 作シウ 鶴人
雪一井に人雪のあるさつ紀ル ツルカ 井筒
よさゆケ雨あよ あ雪る職れ イカ 布雪
日ゆゆよ月の ゆる紀のゆゆル アカシ 後嶺
雪源を一ゆゆ 吹乃ほ雪ル ヒツ中 一丸
ゆの姿乃ゆ雪ふかゆゆ甲ル ツルカ 北山
見ゆて見ひ出ゆ某社日 サク 文友
森と紀のゆゆ雪ゆ中ル地雪 ヤマト 清し
ゆゆつく中に海て雪ゆ雨 アカシ と文女

茅の宿は拍子もあらし秋の雨　十二月　井蓼

皆ハふこもかくれてとゝろ雨　サク　使星

ちりの雨や雲も木の入拵しもの、　紫ゴロ

ゆと金沢の水ゝ京野やさ月雨、　松風

きみくれやあ春ゆくく海の波、　波月

人のこゝろふ世ゝあるやあり雨、　里蓮

家の分ぬ雲のゝ秋や春雨　ツ分　三竹

牛蛙とのゝうこんゝやさゝき雨、　蔵雲

物と持ゝあ雲深や春去れ、　義猿

川ゆや山めつゝしき春時　カイリ山　井風

ゆゝゝゝめ雲ゆる海賀やさ月中　仝

雲生や上海ゝせし井戸の水、　一都

みと高てあ高の彩ふ好恨られ　アフミ　天年

蹴鞠てとあゝゝゝつ月　サク　蔵人

人のゝめ雲てゝゝん雨ゝ東　キヒ　嶋雨

ちゝ風ゝんけてたり巻雨ゝ　ツ分　羽花

ある移の木落も雲て日今ゝ　ツ山　東伯

孔木猪雲ん雲ゝ体日ゝさゝ、　湯孝

のゝ今の雨や日今のもゝひ蔵、　皎月

巻てゝや蔵き雲てある雨ゝ　サク　芦雪

巻天や二人ゝ雨ゝ雲ゝん毎　十二月　井蓼

黒いゝて雲ゝの巻雲にすゝゝゝ　アフミ　女雨

春雲の巻て黒ゝ巻ゝ　シレキツ　松友

塚九や所雨ゝ竹ゝ　ツ分　素玄

戸口に清引き捨てる沈丁花　アカミ　紅葉
葉止まりいつまで生きるすみれ、　抱石
夕ゆく夏の夕の茶代と弄ひけり　サク　文友
つ沈丁花　嵐去りふきいりつるを　ナニハ　井亀
世を別れ去る業報や無形ひ　サク　一九
広重や倒の吃りの当たる、　技芸
夕くもりや古寺の見の作る　技　ナニハ　牛亀
夕ゆや糸ゆるまるまるまる　カラリ山　丹風
振り出す　技の縛や糸縁の日　キヒ　猪笑
ゆるがや秋まつ能の尾のひかり　ミカラ　京橋
菩提菴　蛙の生へそそぐ　ナニハ　必路
刈るて　寝い人さきはのあり　サヌキ　光友

ちるそそぐそそぐけりや西日和、　荒川
ゆきかきとそれぬ切れ　カラリ山　一鼎
麻刈りてりまにしくう蚕の完　アニ　一技
蚕ゆやよるるる物の業技へ、　三光
ひるるるのるるる　アスミ　松友
ゆる点の咲はの元りゆ二形、　サク　宝秋
夕ゆるやゆるよ引くつあの元りゆ　サク　文友
夕点やいれ除ゆるたくの泡　小八ニ　赤玉
ゆふゆるの咲くと差りひとつ点　サヌキ　竹渡
ゆ月を足失公ひりゆひとつ点、　技郎
ゆるよゆるるゆるゆる清し蓋の雪、　亀山
日ちりも雪もつ蓋の雪ゆ　サク　西圭

[illegible] アヽ 三笑
[illegible] 机る
[illegible] ナニハ 拙本
[illegible] 仝
[illegible] 拙面
[illegible] ヨハリ 林芳
[illegible] サヌキ 而后
[illegible] 有拙
[illegible] 指新
[illegible] アフミ 松友
[illegible] サヽ [illegible]机
[illegible] 仝

[illegible] ナタ 素樹
[illegible] アハ 洞也
[illegible] 仝
[illegible] キヒ 雷面
[illegible] 尼 吉人
[illegible] サヽ 文友
[illegible] 一紫
[illegible] 月
[illegible] 時机
[illegible] 吉月
[illegible] ナニハ 極月
[illegible] アヽミ 宝寿

もとうゝ芒なてゝ又もとうゝ柿の色、井玉
枯てある葉山のうゝうゝて地いちと（サク）る色
和のものやきさてゝと上ま筑さし、
葉はくゝとなて日今もいつぬる切、廣人
え坊の樹も仮抜ゝとうゝ玉、茶宝
落遠て捕原の上る葉葉、柿多
立しゝ多もゝく成家て蔵り玉、奇妙
麦秋や陸付ゝ麦畑遠意（ナタ）素橋
麦畑や仮ゝく茶もゝく挿（ナニハ）枕月
麦の穂もいて咲ゝや青山椒又湖玉
流かゝまんゝくさや夜来立、菅原
昔今ゝ和のもちゝや鈴の色（サヌキ）拓鉢

ゝふゝうり和ハかゝて夜ゝあゝ鶴（サク）岩橋
望ゝハもゝぬりわや明ゝひ多（ナニハ）井茶
ゝゝまゝ多ゝ和ゝゝ夕多ゝ鶴玉（アカレ）和月
もゝく和ゝ玉飛ゝ山田の多ゝ玉多（エホウ）宮庵
笑多ゝれぬゝちハせゝきゝひ多玉、金永
しゝゝくゝゝ日の飛ゝや鶴の多（キヒ）玉面
鶴多ゝゝ夕ゝ川田の小渦、曽面
茶渦ゝゝ玉ゝ茶茶ゝ通鶴（サク）漆賀
毛ゝゝて玉ゝ多鶴ゝ蔭玉（かり山）一鶴
月の鶴ゝ鳴ゝゝゝゝ鶴ゝ付多（イカ）蚍原
枯ゝゝゝふ風ゝゝゝ多枯（ナニハ）井等
地飛ハまゝ田ゝ多ゝ風ゝゝゝ、井茶

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あらしやまこのくれや嵯川の一雪より　十二月　羅古

まくはの孫とく京みうらう　ワルタ　野花

あるとこれハそこく書うり笹　ワ山　芝ゑ

冷まやれの川のうけ走り、　謂考

弦えのかこくるや和給、　カニリ山　故月

たやきうのわやゆふ辻うむ　サリ　九柱

雪ゑれて以後ゆるて高出ぶ　ミカケ　松孔

居所をおくまて高出ぶ　ナニハ　外翁

雪了持ふえてる高手ぶ　キヒ　丹雪

いてやしきの海や書笑　尼　長函

後きくひして雪ゑぬ書笑　十二月　る集

をさてあくゆるや書すくれ　丹亀